



生産履歴記帳運動について



★ なぜ生産履歴用紙記帳が必要か？

消費者の安全・安心を求める志向はとても高く、その信頼に応えるためには、農業生産の保証書となる生産履歴の記帳が欠かせないからです。



また、今年度より、GAP(生産工程管理)導入にむけて動き出すこととなりました。

GAPとは・・・

より良い農業を行うために、点検項目を定め、これに沿って農作業を行い、記録・検証することで農業経営の改善に結びつけていこうというものです。

今までは、出荷された農産物を検査し、流通させていましたが、GAPを行うことで、生産の各工程をチェックすることにより、農産物の安全性を確保することができます。

◆結果管理(今までの体制)



- 全ての農産物の検査は不可能。 → 出荷先で検査される可能性もあり。
- 事故・事件発生の場合、全農産物の回収等に多額の経費がかかる。 → 信頼回復にはかなりの時間がかかる。

◆工程管理(GAPの実践により)



- 事前に危害要因(何が原因で残留農薬、ドリフト、異物混入等が発生するか)を洗い出すため、安全な農産物の生産ができる。
- 事故・事件発生の場合、点検記録をもとに原因を調べることができる。



また、点検項目に、「環境の保全」「労働安全の確保」「農業経営の改善」についても含めることになっておりますので、生産者の健康維持や、経費削減などのメリットもあります。

まずは、他の産地に負けないよう、取引先・消費者に選んでもらえるように信頼・信用を高め、責任と自信を持って提供するためにも、**出荷前に生産履歴を必ず提出しましょう！！**

※ 生産履歴の提出がない場合は分別出荷となります。

～ 安全安心な農産物づくり推進協議会 ～

産地として、消費者に認められ、指示されるように生産者みんなで頑張りましょう。

